## 『消防設備士第5類 令和7年下巻』 に関するお詫びと訂正のご案内

『消防設備士第5類 令和7年下巻』の内容について誤りがありましたことを、心よりお詫び申し上げます。以下の通り訂正いたしますので、お手持ちの本書に加筆訂正をお願いいたします。

ご迷惑をおかけして誠に申し訳ございません。よろしくお願い申し上げます。

## 初 版

| P13   |         | 【7】 全屋制 陸聯は1 ずの機様の間隔について  | -f:E      |   |
|---|---------|---|-----------|---|
|   | 赤字部     | 【7】金属製避難はしごの横桟の間隔について   | 、场        | 配恰自守工、止しいもの <del>もめ</del> は次  |
| 更新:[2025.08.25]                             | 部分      | のうちどれか。   |           |   |
| P17   | 分を削さ    | 【3】金属製避難はしごで、つり下げはしごの   | つり        | 下げ金具の材料として、規格省  |
| 更新:[2025.08.05]                             | 除       | 令上、正しいもの <del>もの</del> は次のうちどれか。  |           |   |
| P79<br>【4】<br>更新: [2025.08.25]              | 誤       | 調速機   | 正         | 調速器   |
| P86<br>【1】矢印A<br><sup>更新:[2025.08.05]</sup> | 誤       | A → □ □ ¬ ブ   | 正         | A → □-フ   |
| P110  | 赤字部分を削除 | 【5】正解  1. 避難器具用ハッチを屋外に設置する場合 2. 1.8m以上  1. 避難器具の基準細目第八 五により、避難器具用ハッチの構造は「本体、上ぶた、下ぶた(避難器具用ハッチを屋外 <del>タンク貯蔵所</del> に設置する場合に限る。)及び取付金具等により構成されるものであること。」と規定している。このことから、避難器具 |           |   |
| 更新:[2025.07.09]                             |         | 用ハッチをベランダ等の屋外に設置する場合に   | \$\  <br> | <ul><li>ふたか必要となる。 (以下、略)</li></ul>                                    |
| P160  | 誤       | 【1】正解  1. 収容人員:70人 計算式: 10人+(180m2/3m2) 避難器具の個数:1個 理由: 収容人員が200人以下のため   | 正         | 【1】正解  1. 収容人員:70人 計算式: 10人+(180m²/3m²) 避難器具の個数:1個 理由: 収容人員が100人以下のため |
| 更新:[2025.08.05]                             |         | 1   |           | ALIXAD TOOKS TOOKS  |

| P161                   | 赤字部分を追加 | 1. 収容人員を求める計算式は、次のとおり。なお、飲食店は客席部分が床面積の対象となる。10人+(180m2/3m2)=70人特定主要構造部が耐火構造であるものの、避難階段等が2以上設けられていないため、人員の数はそのまま適用する。この規定により、飲食店で200人までは、設置個数が1個となる。また、上巻97Pにおいて、設問の階は「3階以上の階のうち、当該階から避難階又は地上に直通する階段が2以上設けられていない階」にも該当するため、収容人員が100人までは個数が1個となる。どちらの規定を適用しても個数は1個となるが、「理由」が異なってくる。より厳しい「100人以下」を正解としたが、「200人以下」も正解とされる可能性がある。 |  |  |
|------------------------|---------|--|--|--|
| 更新:[2025.08.05]        | 赤字部分を訂正 | 2. 建具表から適切な窓を選択する。<br>Aの片引窓は、開口部の大きさが高さ1.2m、幅1mであり、多くの避難器具に適<br>応する。Cの片引窓は、開口部の大きさが高さ1.2m、幅0.45mであり、避難はしご、<br>緩降機等に適応する。<br>窓B・Dは「FIX」窓であり、避難器具の開口部として適応しない。   |  |  |
| P166                   | 誤       | 3. 避難袋の開口部と操作面積は比較的、覚えやすい。   |  |  |
| 更新:[2025.08.04]        | 正       | 3. <mark>救助袋</mark> の開口部と操作面積は比較的、覚えやすい。   |  |  |
| P173  更新: [2025.08.05] | 赤字部分を訂正 | 2. ▷地下1階のスーパーマーケット:収容人員が50人以上の場合に設置が必要となる。<br>地階に設置できる避難器具は、避難用タラップと避難はしごとなる。<br>▷2階のスーパーマーケット:2階以上の階又は地階に設置が必要とされているが、<br>「ただし、特定主要構造部を耐火構造とした <mark>建築物</mark> の2階を除く」とされている<br>ため、2階には避難器具を設置する必要がない。   |  |  |
| P186                   | 誤       | □ 1. 図中、A点に設計荷重 4 kNが働く場合の最大曲げ応力を、次の項目に従い計算し答えなさい。ただし、アームの断面係数は16,000mm <sup>3</sup> とする。  |  |  |
| 更新:[2025.07.30]        | Æ       | □ 1. 図中、A点に設計荷重4kNが働く場合の最大曲げ応力を、次の項目に従い計算し答えなさい。ただし、アームの断面係数は <b>8,000mm<sup>3</sup>とする</b> 。  |  |  |
| P187                   | 誤       | [1] 正解  1. ①3,200kN·mm ②0.2kN/mm²  (略) $\sigma_{\text{max}} = \frac{M}{Z} = \frac{3,200\text{kN·mm}}{800\text{mm}^3} = 0.4\text{kN/mm}^2 = 400\text{N/mm}^2$   |  |  |
| 更新:[2025.07.30]        | 正       | [1] 正解  1. ①3,200kN·mm ②0.4kN/mm²  (略) $\sigma_{\text{max}} = \frac{M}{Z} = \frac{3,200\text{kN·mm}}{8,000\text{mm}^3} = 0.4\text{kN/mm}^2 = 400\text{N/mm}^2$   |  |  |